

行政評価シート（事務事業評価）			評価年度	26年度
事業名	ヒルクライム韮崎甘利山大会実施事業	担当課	商工観光課	
細分化した事業名				

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり
	政策	訪れる人に感動を与える観光業の振興
	施策	魅力ある観光施策の充実
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	大会の開催により、韮崎市の新たな魅力を創造するとともに、観光スポットである甘利山を広くPRし、甘利山及びまちなかへの集客を図る。
事業の手段	甘利山の特性を活かしたヒルクライム大会を開催する。
事業の対象	参加選手、観光客

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)		1,350	1,638
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源		1,350	1,638
B	担当職員数(職員E) (人)		0.6	0.6
C	人件費(平均人件費×E) (千円)		4,012	3,894
D	総事業費(A+C) (千円)		5,362	5,532
主な事業費用の説明		大会開催経費(会場設営費等)補助、従事職員人件費		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 補助金額	(千円)		1,000	1,300
	2				
	3				
妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	補助金額のほとんどが会場設営費であるため、妥当である。			
	2				
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	甘利山観光客数	(人)	54,335	61,277	59,089
	2	参加選手数	(人)		348	336
	3	市内宿泊者数	(人)		62	121
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	平成24年からの大会開催により、観光客が以前よりも増加(23→24)している。 ※24から25年度は若干の減少にあるが、以前から比べると確実に増加している。				
	2	より多くの選手の参加が望まれる。 ※参加者は年間スケジュールにより申し込むため、急激な増加は見込めない。				
	3	宿泊者数は着実に増加している。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) 平成24・25年度は、11月の開催であったが、落葉によるコース管理や選手の体温管理の難しさから、平成26年度は7月に開催することとした。真夏の開催であることから、実施時期について再度検討する必要がある。 参加者増に向けた取り組み(PR手法など)を強化する。
過去の改善経過	開閉会式会場の変更＝釜無川河川公園から御勅使広場へ おもてなしの内容や関連イベントの実施など、そのつど改善に努めている。
課長所見	夏開催については、冬(11月)開催より良いという意見が多かった。参加者増に向けての工夫やもっと市民を巻き込む方法を一考しながら、より盛大な大会となるよう継続的に開催していく。